



▲かけ声も勇ましく腕用ミニポンプで参加（玉東町）



▲水かけ百年戦争（南関町）

▼的確な小型ポンプ操作法（南関町）



新春の恒例行事の一つである、県下の消防出初式が1月3日から各地で始まりましたので、二、三の話題を紹介します。

7日には天草郡御所浦町で行われ、出漁で不在しがちな消防団をカバーする婦人消防隊や嵐口少年消防クラブが、通常点検、一斉放水にとキビキビした動作で参加し、町民から盛んな拍手を浴びていました。同町では昭和5年に40数戸を焼く昼火事があった以来、婦人消防の機運が芽生え、35年ごろから自主防災組織として地区で隊を結成、訓練を始めています。今では町内6隊に180人の隊員を擁し、昨年二月には日本消防協会の表彰も受けました。

10日には、勇壮な放水合戦で知られる玉名郡南関町で放水合戦百周年を記念してにぎやかに行われました。この放水合戦は、明治15年、龍吐水ポンプの購入を祝って行われた標的落としをきっかけに始まったといわれ、以後、団員の士気を鼓舞するために毎年続けられてきました。

また、11日には玉名郡玉東町で大人の消防団員に交じり、ハッピー姿も勇ましいチビッコ消防団が行進、放水と大人顔負けの活躍をして大喝さいを浴びていました。

▶ハッピー姿も勇ましいチビッコ消防団
（玉東町）



チビッコ消防団も大活躍!